



平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月9日

上場取引所 名

上場会社名 株式会社 ゴルフ・ドゥ  
 コード番号 3032 URL <http://www.golfdo.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 伊東 龍也  
 (氏名) 大井 康生

TEL 048-851-3111

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	3,288	△1.8	40	247.1	36	303.6	20	—
26年3月期第3四半期	3,348	△3.3	11	△91.1	8	△93.1	△40	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 41百万円 (—%) 26年3月期第3四半期 △19百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	16.86	—
26年3月期第3四半期	△32.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	2,393	501	20.6	404.40
26年3月期	2,398	430	17.9	346.98

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 501百万円 26年3月期 430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	4.3	65	—	31	—	24.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	1,311,300 株	26年3月期	1,311,300 株
27年3月期3Q	70,979 株	26年3月期	70,900 株
27年3月期3Q	1,240,390 株	26年3月期3Q	1,240,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査の手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策への期待などにより、企業の収益性に関しては改善傾向が持続しております。一方、消費税増税による個人消費は低調に推移しており、急速な原油価格の低下による好影響があるものの、円安進行による原材料価格の上昇や海外経済の下振れなどの懸念材料があり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

ゴルフ業界におきましても、多少回復傾向はみられましたが、2013年12月の「ゼクシオ8（ダンロップ）」のモデルチェンジ時並みにゴルフ用品市場を大きく牽引するほどの影響はなく、消費税増税による生活防衛意識の高まりから、消費に対する節約志向が依然として続いております（矢野経済研究所YPSデータより）。なお、ゴルフ場／練習場の利用者数は、前年同月比10月104.9%/97.2%、11月102.4%/101.0%（経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」）と堅調に推移しております。

このような経営環境のもと当社グループにおきましても、直営事業では秋からのマークダウンや新製品の発表に伴い、中古クラブの売上が大幅に回復し、10、11月と好調に推移しました。しかしながら、12月は急激な天候の崩れや真冬並みの寒さにより、低調な結果となりました。営業販売事業では、依然として円安局面での直輸入商材への発注は減少し、国内特価商材の受注獲得に努めてまいりました。そのような中、今後のFC事業展開も視野に入れた新しいスタイルの中古ショップ「Golfdo! Studio」を東京都西東京市の大型練習場内に平成26年12月20日「田無ファミリーランド店」として開店いたしました。当店舗はリペア工房や地クラブパーツを強化しており、新たなコンセプトショップの展開を目指しております。

なお、当第3四半期連結累計期間におきましては2店舗出店、2店舗閉店となり、平成26年12月末日現在の営業店舗数は全国で合計75店舗となっております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は売上高が32億88百万円（前年第3四半期連結累計期間33億48百万円）、営業利益が40百万円（同営業利益11百万円）、四半期純利益は20百万円（同四半期純損失40百万円）となりました。

ゴルフドゥ!店舗月次データ（売上高前年比）は以下のとおりであります。

月	H26年 10月	H26年 11月	H26年 12月	第3四半期合計 (10~12月)	第3四半期累計 (4~12月)
チェーン全店	107.4%	110.8%	100.4%	106.1%	103.5%
チェーン既存店	103.6%	107.2%	96.5%	102.3%	98.2%
直営全店	111.0%	117.8%	106.7%	111.8%	105.9%
直営既存店	105.1%	111.7%	100.0%	105.6%	99.0%
FC全店	105.4%	107.1%	97.3%	103.2%	102.2%
FC既存店	102.7%	104.7%	94.7%	100.6%	97.7%

なお、セグメント別の状況は以下のとおりであります。

## (直営事業)

当第3四半期連結累計期間における直営事業の売上高は22億57百万円（前第3四半期連結累計期間21億35百万円）となりました。また、セグメント利益は1億31百万円（同95百万円）となりました。

## (フランチャイズ事業)

当第3四半期連結累計期間におけるフランチャイズ事業の売上高は3億4百万円（前第3四半期連結累計期間2億90百万円）となりました。また、セグメント利益は1億20百万円（同1億21百万円）となりました。

## (営業販売事業)

当第3四半期連結累計期間における営業販売事業の売上高は7億26百万円（前第3四半期連結累計期間9億22百万円）となりました。また、セグメント損失は13百万円（同損失6百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は23億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円減少しました。

流動資産は、17億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円減少しました。これは主に現預金が72百万円増加、商品及び製品が76百万円減少、売掛金が33百万円減少、繰延税金資産が5百万円減少したことによるものです。固定資産は、6億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円の増加となりました。これは主に有形固定資産が20百万円減少、投資その他の資産が63百万円増加したことによるものです。

## (負債)

流動負債は、11億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ40百万円増加しました。これは主に買掛金が4百万円増加、短期借入金が21百万円増加、1年以内返済予定の長期借入金が11百万円増加、ポイント引当金が5百万円増加したこと、そして賞与引当金10百万円減少したことによるものです。固定負債は、7億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億15百万円減少しました。これは主に長期借入金が1億17百万円減少したことによるものです。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は5億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円増加しました。これは主に利益剰余金41百万円及び評価換算差額金20百万円増加によるものです。この結果、自己資本比率は20.6%（前連結会計年度末は17.9%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月12日に公表いたしました連結業績予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	416,617	488,672
受取手形及び売掛金	224,924	191,859
商品	1,046,707	970,383
繰延税金資産	28,301	22,964
その他	57,863	56,009
貸倒引当金	△1,179	△1,170
流動資産合計	1,773,236	1,728,718
固定資産		
有形固定資産	224,663	203,880
無形固定資産	47,173	44,769
投資その他の資産		
投資有価証券	19,611	19,865
敷金及び保証金	159,692	156,991
建設協力金	130,718	122,882
繰延税金資産	3,286	3,849
その他	42,205	115,194
貸倒引当金	△2,167	△2,167
投資その他の資産合計	353,346	416,615
固定資産合計	625,182	665,265
資産合計	2,398,419	2,393,983
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	224,273	228,649
短期借入金	378,477	400,000
1年内返済予定の長期借入金	276,276	287,480
未払法人税等	7,052	6,572
賞与引当金	21,001	10,067
ポイント引当金	24,385	30,381
その他	144,768	153,234
流動負債合計	1,076,235	1,116,384
固定負債		
長期借入金	679,806	562,802
繰延税金負債	7,619	7,921
退職給付に係る負債	123,623	126,183
資産除去債務	34,942	36,300
その他	45,800	42,800
固定負債合計	891,791	776,008
負債合計	1,968,026	1,892,392

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	501,320	501,320
資本剰余金	178,372	178,372
利益剰余金	△256,107	△214,979
自己株式	△23,625	△23,649
株主資本合計	399,960	441,064
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,606	2,860
為替換算調整勘定	27,826	48,096
その他の包括利益累計額合計	30,432	50,956
新株予約権	—	9,570
純資産合計	430,392	501,591
負債純資産合計	2,398,419	2,393,983

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	3,348,366	3,288,524
売上原価	2,215,471	2,078,924
売上総利益	1,132,895	1,209,599
販売費及び一般管理費	1,121,197	1,168,991
営業利益	11,697	40,608
営業外収益		
受取利息	2,493	3,847
受取手数料	2,378	2,476
為替差益	2,249	—
その他	204	799
営業外収益合計	7,325	7,124
営業外費用		
支払利息	9,653	10,497
その他	380	952
営業外費用合計	10,034	11,449
経常利益	8,989	36,283
特別利益		
子会社株式売却益	—	3,600
特別利益合計	—	3,600
特別損失		
減損損失	26,214	—
特別損失合計	26,214	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△17,225	39,883
法人税、住民税及び事業税	11,559	13,328
法人税等調整額	11,584	5,639
法人税等合計	23,143	18,968
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△40,369	20,915
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△40,369	20,915



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△40,369	20,915
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,675	254
為替換算調整勘定	17,166	20,269
その他の包括利益合計	20,841	20,524
四半期包括利益	△19,527	41,439
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,527	41,439

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,135,359	290,412	922,594	3,348,366	—	3,348,366
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,135,359	290,412	922,594	3,348,366	—	3,348,366
セグメント利益又は損失(△)	95,151	121,071	△6,311	209,910	△198,213	11,697

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、のれんの償却費 13,107千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. のれんについて、26,214千円の減損損失を計上しております。減損損失の概要につきましては、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(四半期連結損益計算書関係)」をご参照ください。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	直営	フランチャイズ	営業販売	合計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,257,838	304,399	726,196	3,288,434	89	—	3,288,524
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	939	△939	—
計	2,257,838	304,399	726,196	3,288,434	1,028	△939	3,288,524
セグメント利益又は損失(△)	131,567	120,464	△13,346	238,685	△14,422	△183,654	40,608

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、マーケティング支援事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。